

「環境に配慮した消費生活」～100年後も住みやすい福山をめざして～

本題材で育成する資質・能力

思考力・判断力・表現力 主体的に学ぶ力 社会貢献力

① 題材について (題材観・生徒観・指導観)

1 題材観

本題材は、中学校学習指導要領技術・家庭科(家庭分野)「D身近な消費生活と環境」では(2)ア「自分や家族の消費生活が環境に与える影響について考え、環境に配慮した消費生活について工夫し、実践できること」を指導することとしている。

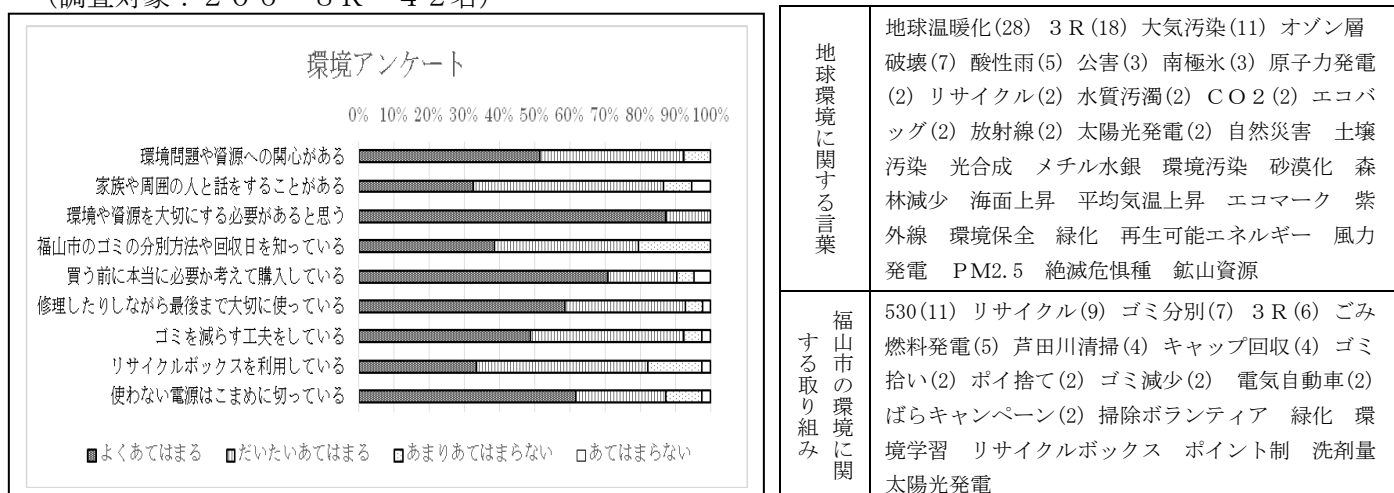
私たちの生活は多くのエネルギーを消費することによって成り立っている。社会の変化とともに誰もが便利で豊かな生活を送るようになり、その結果家庭用のエネルギー消費は増加傾向にある。また身の回りの生活用品の生産過程・流通・通信・販売においても多くの資源やエネルギーを消費している。自然環境や資源の有限性などを理解し、持続可能な社会の構築を実現していくことは、我が国のみならず世界的にも直面する大きな課題である。その解決のために地球環境の現状を知ることで問題に気づき、自分の課題を設定し周囲の人と協働して実践する力は、変化していく社会を生きるために必要な資質・能力を育むことにつながる。

地元福山市は「次世代エネルギーパーク」を推進し、地球環境と調和した将来のエネルギーの在り方について市民に発信するなど環境に配慮した社会の構築に向けて取り組みを進めている。福山市に住む中学生として、地域環境を大切にしたい生活を工夫することは持続可能な社会を構築する意欲を高めることにつながると考える。

2 生徒観

本題材の学習に入るに当たって実施したレディネス・チェックの内容と結果は次のとおりである。

(調査対象：206・8R 42名)



このクラスでは、環境や資源への関心は高く、購入前に考えたり使わない電源をこまめに切るなど、日常生活で環境や資源を大切にしようとする行動も実践できている。しかし、環境や資源について家族で話す場面は多くなく、居住地域である福山市のゴミ分別方法も熟知しているとは言えず、リサイクルボックスの活用も少ない。環境への関心をどう意欲や実践に結びつけるかが課題である。

3 指導観

指導にあたっては、特に次の点について工夫して指導する。

- ①初めに地球温暖化の現状について知り、地球温暖化を止めるためには低炭素社会・循環型社会・自然共生社会が必要であることを理解させ、地球環境を守るための暮らし方について考えさせる。
- ②福山市民として福山市の環境に関する取り組みを知り、地元福山の環境を大切にしようとするための1つの方法として、ゴミの分別ができるようにさせる。
- ③パフォーマンス課題として、福山市が2020オリンピック・パラリンピックの事前合宿会場になる事を踏まえて、環境に配慮したオリンピック・パラリンピックにするための方法をグループ討議させる。
- ④春休みを活用して「アクションプラン」を実践させる。

② 題材の目標と身につけさせたい力について

1 題材の目標

- (1) 自分や家族の消費生活が環境に与える影響を理解し、エネルギー消費を減らす方法や環境保全を考え、実践することができる。
- (2) 今後の生活を展望し、環境に配慮した生活を工夫することができるようにする。

2 題材の評価基準

ア 生活や技術への 関心・意欲・態度	イ 生活を工夫し創造 する能力	ウ 生活の技能	エ 生活や技術について の知識・理解
①環境に配慮した消費生活について関心を持って学習活動に取り組み、より良い生活を実践しようとしている。	①環境に配慮した消費生活について課題を見つけ、その解決を目指して自分なりに工夫し創造している。	/	①消費生活と環境との関わりについて理解し、基礎的・基本的な知識を身につけている。

3 本題材で育成を目指す資質・能力

(1) 本校の設定した資質・能力と本題材との関わり

資質・能力		特に身に付けさせたい力	本題材での 育成・評価
知識・技能	知	①学習したことをもとに自ら語れる力（知の構造化）	—
思考力・ 判断力・ 表現力	思	①根拠をもとに、正しい判断をする力	○
		②よりよい解決のため、いろいろな見方・考え方を持つ力（批判的思考力）	○
		③自分の考えを相手が納得できるよう分かりやすく伝える力（言語力）	○
主体的に学ぶ力	主	①自ら課題を見出し、解決しようとする力	○
他者とのかかわる力	他	①他者と協力して、課題を解決したり、目標に向かって取り組んだりする力	—
		②他者との関わりを通して、自分の考えを深めたり広げたりしようとする力	—
社会貢献力	社	①よりよい地域社会のために、何をすべきかを考え実行しようとする力	○
自己形成力	自	①前向きにチャレンジし、より自律・自立した人間になろうとする力	—
		②自信を持つ力	—

(2) 本題材で本校の設定した資質・能力を身に付けさせるための手立て

資質・能力	資質・能力を身に付けさせるための手立て
思－①	地球環境の現状について、写真等を使い視覚的に提示する。
思－②	自分の日常生活やこれからの人生に結びつけ、具体的にイメージさせる。
思－③	グループ討議など自分の考えを表現する場を設ける。
主－①	グループ討議など自分の考えを表現する場を設ける。
社－①	環境に配慮した生活を送るために、地域社会が率先して行うべきことや自分ができることについて考える場を設ける。

③題材計画

1 題材の全体像（Ⅰ：学習内容，Ⅱ：学習活動，Ⅲ：題材として生徒に身に付けさせたい力）

Ⅰ **環境に配慮した消費生活の在り方について**，Ⅱ **地球環境の現状を知り，社会や生活に与える影響を考**
えることを通して，Ⅲ **環境に配慮した生活を工夫し実践しようとする力を養う。**

2 題材の終末で見取るパフォーマンス評価

パフォーマンス課題	評価基準	
福山市が 2020 オリンピック・パラリンピック 事前合宿会場になる事を踏まえて，城北中学校 は，期間中外国の中学生を各家庭 2 人ずつ，ホ ストファミリーとして受入れるとする。環境に 配慮した生活の工夫を計画しよう。市内全体で 取り組めることは，福山市に提案しよう。 【条件】 開催種目：ボート 場所：芦田川漕艇場 選手村から 115 km 約 10 日間開催 観客席数 12,000 席 駐車場 526 台，バス 18 台 8/7(金)～8/23(日)オリンピック 9/9(水)～9/20(日)パラリンピック	A	会場となるための様々な条件を踏まえて，選手団や役員・観客など参加者の生活を考慮した上で，循環型社会・自然共生社会・低炭素社会を意識した新しい方法を工夫し提案している。
	B	会場となるための様々な条件を踏まえて，選手団や役員・観客など参加者の生活を考慮した上で，循環型社会・自然共生社会・低炭素社会を意識した法を工夫し提案している。
	C	会場となるための様々な条件を踏まえて，選手団や役員・観客など参加者の生活を考慮した上で，環境に優しい方法を工夫し提案している。

3 学習内容と評価の計画

学習過程	時	<input type="radio"/> 本時のめあて <input checked="" type="radio"/> 学習内容	評 価				
			関	工	技	知	評価規準 (評価方法) 【資質・能力】
課題の 情報の 整理・ 分析	1	<input type="radio"/> 地球環境に配慮した暮らし方について考える <input checked="" type="radio"/> 地球環境の現状 <input checked="" type="radio"/> 地球温暖化 <input checked="" type="radio"/> 循環型社会 【本時】	○	○		◎	環境と消費生活の関わりを理解している。 (行動観察)【思-①】 環境に配慮し， 自己の消費生活を見直そうとして いる。 (行動観察・ワークシート) 【思-②，社-①，主-①】
まとめ・ 実行・ 創造・ 振り返り	1	<input type="radio"/> 福山市の取組を知り，福山市民としてできることを考える <input checked="" type="radio"/> 福山市のゴミ分別方法 【パフォーマンス課題】 <input checked="" type="radio"/> ホストファミリーとして，エコなオリンピック・パラリンピックを計画し，福山市にも提案しよう	○	◎		○	住みやすい福山市にするために， 福山市のゴミ分別方法を理解している。 (行動観察・ワークシート)【社-①】 エコなオリンピック・パラリンピックを工夫創造しようとしている。 (行動観察・ワークシート)【思-②，思-③】
振り返り	家庭実践	課題「アクションプラン」の実践					

④ 本時の学習

1 本時の目標

地球環境の現状を知り温暖化の影響を推測することを通して、環境に配慮した消費生活の在り方について考え、その重要性を理解する。

2 本時の評価

評価規準	評価基準	
アイエ 環境と消費生活の関わりを理解し、環境に配慮した消費生活になるよう自己の生活を見直そうとしている。 (行動観察・ワークシート) 【思-①, 思-②, 社-①, 主-①】	A	環境に配慮した生活をするためには循環型社会が必要であることを理解し、社会全体や自己の生活を見直そうとしている。
	B	環境に配慮した生活をするためには循環型社会が必要であることを理解し、生活を見直そうとしている。
	C	環境に配慮した生活をする必要があることを理解し、生活を見直そうとしている。

3 準備物

ホワイトボード ワークシート

J C C C A教材セット (「未来カード」「人物カード」「写真」「温暖化クイズ」「年号カード」)

4 学習展開 (1 限目/2)

学習過程	課題の設定	情報の収集	整理・分析	まとめ・創造・表現	実行	振り返り
	学 習 活 動	指導上の留意点				評価規準 (評価方法) 【資質・能力】
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> 事前アンケートよりで書かれていた地球環境に関する言葉を知る。 めあてを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> マイナスのイメージが多いことを確認する。 地球環境に関する危惧を示していることに気づかせる。 				
<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 【本時のめあて】 環境に配慮した暮らし方について考えることができる。 </div>						
(10分) 展開①	<ul style="list-style-type: none"> 世界で起こっている地球環境現状を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 人生の節目の時期に起きそうなことを予測し、日常の暮らしとのつながりを意識づける。 将来の主要なリスクを知らせ、危機感を抱かせる。 				アイエ 環境と消費生活の関わりを理解し、環境に配慮した消費生活になるよう自己の生活を見直そうとしている。 (行動観察・ワークシート) 【思-①, 思-②, 社-①, 主-①】
展開② (20分)	<ul style="list-style-type: none"> 地球の環境破壊の原因を知り、その防止対策を考える。 (グループ討議・交流) [J]…じっくり考える) [H]…はっきり表現する) 	<ul style="list-style-type: none"> 地球の環境破壊の大きな原因は、人間の暮らしが引き起こした地球温暖化であることを理解させる。 社会・個人レベルで防止対策を考えさせることを通して、地球温暖化防止対策の方向性をつかませる。 グループ討議と交流を通して、考えを広げ深めさせる。 				
(10分) 展開③	<ul style="list-style-type: none"> 地球温暖化を防止し、持続可能な社会にするために必要な事をまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 地球温暖化を防止するためには低炭素社会・循環型社会・自然共生社会が必要であることを理解させる。 持続可能な社会を築くことが重要であることを理解させる。 				
(5分) まとめ	<ul style="list-style-type: none"> 本時の学習を振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> 自己の生活を振り返り、地球温暖化を防止し持続可能な社会を築くためにできることを、具体的に考えさせる。 地球温暖化防止は自分自身の問題であることに気づかせる。 				